



本から 10000 より大きな数を見つけてクイズを作ろう

岸和田市立八木小学校

教科	算数	単元名	10000 より大きい数を調べよう
----	----	-----	-------------------

本単元で育む主な情報活用能力

**B-STEP 2, E-STEP 1
G-STEP 1**

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・万の単位や 1 億までの整数の表し方や相対的な大きさについて理解する。
 - ・大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かす。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・作りたいクイズの題材となるものを図書資料やインターネットなどで情報を集める。

単元における学習の展開（全 1 2 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (7 時間)	○数の表し方 ・一万の位までの数の読み方や書き表し方を理解する。 ・数や式の相当関係や大小関係の表し方を理解する。 ・数の構成を多面的にとらえる。
第 2 次 (2 時間)	○10 倍した数と 10 でわった数 ・整数を 10 倍した数。 ・100 倍 1000 倍した数の表し方を考え、説明する。
第 3 次 (3 時間)	○まとめ ・学習内容の定着を図り、数学的な見方・考え方を振り返る。 ・図書資料の中から 10000 より大きな数を見つけ、今まで習ったことを活用したクイズとその解説文を作ることができる。(☆) (本時) ・クイズ大会で問題を解きあう。

本時のねらい

- ・図書資料の中から 10000 より大きな数を見つけ、既習事項を活用したクイズと答えを作る。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	1. 前時までの学習の振り返り、本時の課題をつかむ。 めあて：本から 10000 より大きい数を見つけてクイズを作ろう。	・既習事項を掲示し学習内容を復習する。 ・学習のめあてを意識させる。
展開 (25分)	2. 問題作りをする。 ・10000 より大きい数の問題を作る材料をさがし、一人一問の問題を作る。 ・既習内容を活かして問題の答えをまとめる。 ・でき上がった児童は、友だちと読みあって改良したり、一緒に問題や解説文(解き方)と答えを考える。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・大きさ、長さ、記録などのデータを扱った図書資料やSDGsに関する図書資料を学校図書館や市立図書館から集めておく。 </div> ・教員が作った問題を見本とすることで、問題作りが難しい児童が、参考にしながら作れるようにする。 ・一人一問の問題を作れるよう、班で協力する。 ・答えと解説文の作成に戸惑っている児童には教員が個別に声をかけたり、ヒントカードを渡したりする。
まとめ (10分)	3. ふりかえり ・難しかったこと、できたこと、資料を読んで興味を持ったことなどを書く。	・振り返りを共有し、10000 より大きな数について身近に感じられていることに気づく。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・授業後の自主学習では身の回りの大きな数を探る児童もいて、日常生活の中に算数と結びつけられることがあることを実感できた取組みとなっていた。
- ・自分たちで作った問題を積極的に解き合う姿が見られた。
- ・普段あまり読まない、データに関する本に触れる機会をもつことができ、児童は興味深く読んでいた。
- ・3年生の学習内容に合った選書ができるよう、活用した図書資料をデータでまとめた。



興味を持った数字について、問題作りをしているところ。